

## 令和2年度 第2回地域福祉推進会議 情報提供シートまとめ

### 小玉委員（北区社会福祉協議会 会長）

新型コロナウイルスの流行は、いまだ収束のメドはたたない。外出の機会が減り、人と会う機会が少なくなっている。地域活動も、事業の中止や延期、規模縮小などをせざる得ない状況になっており、また、人とのつながりが希薄になることが心配されている。

今後は、感染予防の状況下において、地域で様々な工夫と知恵を取り入れ、つながりを切らさない地域活動を展開し、継続をしていかなければならないと思う。

現在、食事サービス事業を会食から宅配に変更、また、百歳体操、脳トレ教室等の事業を規模縮小し3部制で実施。集会所を利用される方には検温、手指消毒、名簿記入の協力をいただき、1.5～2m程度の十分な距離を取り、利用後は備品類の消毒と管内清掃を徹底している。

### 吉川委員（北区民生委員児童委員協議会 会長）

ひとり暮らし高齢者や要援護者の見守りや安否確認等の支援を行う際には、訪問した上で対面にて確認を行っていたが、現在は感染予防の観点から電話での確認やポスティング等を実施している。しかしながら、昨今の高齢者等を対象にした詐欺等の横行する現状下でもあり、警戒心からか電話にも応答しない事が多々ある。

また、地域により異なるが集合住宅の増加により住民同士の交流が希薄になり、実態の把握が一層困難になっている。

守秘義務のある民生委員・児童委員同士の会議では、気掛かりな事例を提示しながら委員同士で情報共有する様にしている。

### 友田委員（北区地域女性団体協議会 会長）

コロナ禍による高齢者の孤独、孤立、又子どもに対する虐待など増えてきている中、早期発見の取り組みが大事だと思います。

女性会も見守りに力を入れていきたいと思います。

### 坂東委員（大阪市北区薬剤師会 会長）

各薬局内ではできる限りのコロナ対策をしております。

また、今後、予防接種に関しましてもお手伝いできるように準備していきたいと思っております。

### 長谷川委員（特別養護老人ホーム鶴満寺聚楽院 施設長）

消毒やマスク、体温検査の徹底をして、なるべく従来どおりの活動を維持している。

外部団体との連携は少人数で行っている。

換気の徹底をしている。